

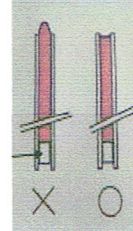


サンプルホルダーをシャフトに差込み、手首で左右に振り、ホルダーの下穴にトルクピンを被せてギア一噛み合わせます。

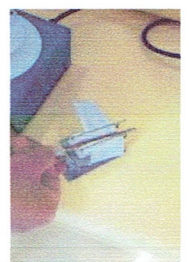


(準備品)

- ・ E D T A 加血液 500 μ l
- ・ 専用赤沈管
- ・ 血液拭取り紙

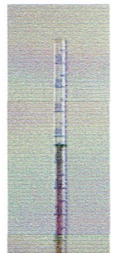
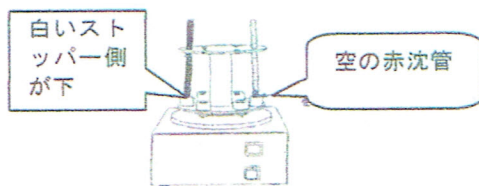


O
r



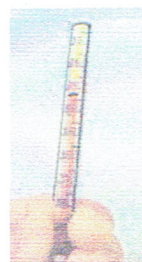
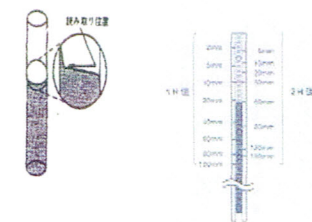
「サンプルの吸引」

1. 採血後 8 時間までの室温保存した E D T A 加血液 (血球算定の残余) を 8 回ほど転倒混和でよく混和します。
※採血後 8 時間以上経た血液、保冷した血液は沈降しません。
2. 赤沈管の白いストッパ側にスポイドを軽く差込み、血液を穏やかに吸引します。
※吸引中に大きな気泡が混入した折は直ちにスポイドを抑えて血液を戻し、再度吸引します。
3. 赤沈管に付着した血液は飛散を防ぐため先端部を吸取るように拭取ってください。拭取り器具の溝に押入れ前後に擦ります。
4. 赤沈管の差込は白いストッパーが下向きです。

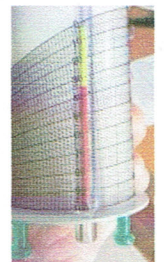


「スタート」

1. 赤沈管をセットし、ホルダーカバーを被せ、電源 SW を入れ、スタートボタンを押します。
2. ホルダーは 45 秒ごとに反転します。その際に赤沈管自体も 180 度自転しています。
3. 3 分で停止ブザーが鳴り回転が止まります。さらに 30 秒後に再度報知ブザーが鳴りますのでこの間に赤沈管をかざして目盛を読取ってください。
4. 分離境界が不明朗な場合、マジックで印をして治めた後に読取り下さい。(有意差はありません)



読取り位置	1H値	2H値
0mm	0%	0%
5mm	12.5%	25%
10mm	25%	50%
15mm	37.5%	75%
20mm	50%	100%
25mm	62.5%	125%
30mm	75%	150%
35mm	87.5%	175%
40mm	100%	200%
45mm	112.5%	225%
50mm	125%	250%
55mm	137.5%	275%
60mm	150%	300%
65mm	162.5%	325%
70mm	175%	350%
75mm	187.5%	375%
80mm	200%	400%
85mm	212.5%	425%
90mm	225%	450%
95mm	237.5%	475%
100mm	250%	500%



「キャピラリー赤沈管 (mm 目盛) の読取り」
赤沈管に印字された左側目盛が W 1 H 値、右側目盛が W 2 H 値です。
(例) 1 H : 20mm、2 H : 45mm

「ウイントロブ赤沈管 (%) の読取り」
赤沈管に印字された % 目盛から換算表で W 1 H mm、W 2 H mm を求めます。
(例) Z : 40% は 1 H : 57mm、2 H : 95mm

「微量スケール」
血液残量 250 ~ 500 μ l で測定できます。